

## Translation of Michele Renouf's impromptu speech in Iran for President Ahmadinejad

これは彼女が イラン大統領、アフマディネージャッドAHMADINEJAD主催の「イマンコメイーニ記念際」の会合の際、その翌日の2010年の6月3日アフディネージャッド大統領に対してした、終いの挨拶としての約15分間のいわゆるお礼件コメントとしての即興スピーチです。

(まず その前に彼女はすでに 例の歴史上初めてと言われる「ホロカースト問題について」の2006年秋のテヘランでの会合に出席していき、その時点で 彼女は彼女自身制作JAILING OPINIONS、(根本的には歴史家たちへの威圧、主に歴史作家のDAVID IRVING - それとERNST ZUNDEL 事件(当時まだ監獄中)について INGRID RIMLAND ZUNDEL (ズンデルの妻)によるDVD の二本を直截手渡ししています。ズンデルについては 太田先生が週刊日本新聞で何回か コメントしています。 彼は要約今年3月、自由の身になりました。……..)

『この時代に置いて稀な大統領閣下、感嘆多き主催者 そして幸運に恵まれた同僚たち……

イーマンコメイーニという人物は私達西洋にとっても 理想的指導者です。それは彼が正義とは何かと言う質問に対して こう答えました：それは理性に聞きなさい、理性が正義の目です。 イランと西洋は過去において古代ギリシャの科学的、分析的な思想傾向を共有し、維持してきました。 西洋においては、その伝統は SWINDLE-SPEAK (注)- という略奪を目的とした利己主張の原語悪用のために、自己破壊の道を進んでいます。 古代ギリシャの理想の道徳とは、節制、智識(科学、理性に基づいた)、正義、と勇気の四つから成っておりました。

過去二日間の間で コメイーニのどのところに一番引かれるのかと訪ねられますが、上に述べた その四つの徳の一つとして活動したからでしょう。四つの一つであり、分離してしまえば 価値が失われてしまいます。 その役割を現在継続しているのが現大統領 Ahmadinejad だと、例のテヘランに置ける歴史的会合を開いた、大統領だと存じます。 他にも西洋においては、『歴史の真相は感情に基づくものには無く、立証されるべきものである』と述べ、そのために職を失った勇敢なキリスト教司教の ウィリアムソン (Bishop Richard Williamson ) だと思われます。 歴史的真相無しでは国際的正義は存在不可能です。

コメイーニ指導者はパレスチナの良き指示者でもあり、国際連合 League of Nations (1919-46) その後に国連となるあの組織とは ユダヤ民族主義の指導下により行われ-その為に歴史の真相が歪められ、このような反民主主義であり同時にこのようなユダヤ民族賛成主義的である PRIVILEGE VETO, を造りあげてしまいました。 国連の様な組織の根源の基としてあの1945-46のニュールンベルグ裁判があります。 その当時米国の最

高裁判所の五人の判事たちが。この見せしめのための裁判と判決、敗者が勝者によって法廷で裁かれると言う出来事を『私刑目的の集団による司法権限を悪用した茶番劇』として非難しています。 伝聞証拠は証拠にならず、拷問の結果得た証言は無効であるのみならず 裁判官と陪審員がほぼ同人では真の正義は不可能であると。

コメーニ指導者が今まだ健全であれば今日においてのメディア、すべての出版、報道、情報関係がユダヤ民族主義者たちに乗っ取られられて、行われている二つのこの詐欺を明確指摘する事に対して賛同してくれたと思います。その一つは:ユダヤ民族主義者はパレスチナを略奪する道徳的権限が無い事と、もう一つは;ヨーロッパ系ユダヤ民族には, その必要が実は無かったという事です。 第二次世界大戦の半世紀もの前に(それにより、この問題は第二次大戦以前の問題であり、同時にこの対戦をこの問題から無関係にして) 回答が出されています。 ハーツル(Theodor Herzl-ユダヤ民増主義/イзраエルの父と言われている…)の1895年の「ユダヤ国家」(THE JEWISH STATE)ですでに パレスチナ民族(原住民との表現も可)への大量虐殺は計画されていて、-ハーツル式表現では『消え失せる』、そして民族根絶後、ユダヤ民族が入植すると。

このハーツルの書でも分かるように、ユダヤは犠牲者ではなく、元凶であり、まったくパレスチナに対して道徳的権利は無いと言う事です。 実に1928年後からヨーロッパ系ユダヤ民族にとって、パレスチナは不必要でした。この1928年以後今日まで、このユダヤ自治地帯/ユダヤ共和国は平和に継続しています。 ロシヤの南東、中国との境目にあり、以前の住民を置き換えする必要なく、創られ存在しています。 現代ではそれはスターリンの反セム主義(一応反ユダヤとも表現は可能ですが、それ不正確)の結果との主張もありますが、それは正しくありません。

スターリンは30,000キロメートルほどの土地(約スイスのサイズ)をただの反セム主義のために明け渡すでしょうか? スターリンは当時ソ連内のどの民族にも、自治地帯を協定しようとしました。ビロビジャン、ユダヤ共和国の中心都市では、全く反セムの出来事は記録されていません。1945年、終戦とともにヨーロッパ系ユダヤ人は「祖国が無いためにこうなった、何としても 新しい祖国、パレスチナが必要だ」と叫んでいましたがそれは思い違いです。 その時すでに何十年も存在していた ビロビジャンを中心としたユダヤ自治地帯は移動すれば、すむ事でした。 今日でも同じ事です。 世論中心の報道ではまったくこの事は聞きません。ごく稀にユダヤ系の新聞でビロビジャンと言う言葉は聞きますが、自治共和体制としてではなく、行政区か郡部か何かそのような曖昧で不正確な表現がされています。スイスと略同じようなサイズの自治体がただの地域でありうるでしょうか?

旧ソ連解体の時どの、そのような地帯は共和国として認知されました。ビロビジャンはそれを、イзраエルへの‘思いやり’のために、拒否しました。 この世にその存在が知られることが不利である事を自覚しているからです。

今までアフマディネジャッド大統領は常に真実を宣言し、非常勇敢な態度を示してきました。私の期待であり、希望はこの世にこのユダヤ自治共和体の存在を示すように協力していただきたいと。ヨーロッパ系ユダヤ人はドイツ、オーストリアやポーランドに戻る必要性はまったくありません。

**Yiddish**, イディッシュ語が第一の公認語の自治体が現に既に有るわけですか。ぜひ私の [www.birobidjan.co.uk](http://www.birobidjan.co.uk) のコメイーニ指導者の魂にもとづく祖国選択問題回答のサイトをご覧ください。そこには道徳的でもあり道理を通ずる再軍備が用意されております。

パレスチナ民族に起きているNAKBA, ナクバ（意味は予期せぬ突然の災害）は20世紀最悪の悲劇です。民主主義にもとづき勇敢にHAMASに票を入れた市民の人々、そして世界に散らばっている難民の人々に祖国全体が戻されるべきです。この一国家二民族体制はただ単なるまやかしのまねごとです。

ただちにでもヨーロッパ系のユダヤ人はパレスチナから撤去し、元の住民たちへの弁償が開始されるべきです。そのために、智性と理を土台にこの世の正義と歴史的真相のためにすでもう一世紀以上闘ってきて人々のためにも。

大統領-大統領意向の歴史的正義とコメイーニ指導者にもとづく国際的道理の会合出席、その様な機会を与えていただきまして 真に感謝いたします。

そして最後に、忘れる前にお伝えしたいのは今回そちらにお渡ししたいDVDを用意して参りました。1945-48年の間パレスチナで戦っていた英国軍の退役兵の彼らの体験話です。英国の、-戦争により経済を賄う政府やこの時代の世論としてのイзраエル建国神話に対して大部違う話をしております。

その上、彼らは証人としての役割を消されていますし、**CENOTAPH** での集い等などにも呼ばれず、勲章も与えられず 同僚たちへの記念碑の建設も実費でした。私の三部作『**Israel in Flagrante: Caught in Acts of Twist -speak**』-の サンプルビデオの中にも出ていらっしやる アラビア**IBN SAUD** 王の 名言にもあるように “テロリスト国家建国は中東にとっては悲劇以外なんでもない” と。サウディ家の王にこのような良き指導者の見本がありますが、彼らも又西洋の高利貸し権力者たちの “**SWINDLE SPEAK**” の魔の手下となり共謀し、すがつて利を得ているというのが 残念ながら今日の現状です。』

注：

**SWINDLE SPEAK, TWIST SPEAK ETC.....GEORGE ORWELL** がもつとも有名にした **DOUBLE TALK** -これはまだシンプルなほうですがこれが言語を超えて、**DOUBLE THINK** となると人間、言語や社会性にとって危険に成り始める。矛盾を内柄にむくみ始め、

**M.A.HOFFMANN** はこの表現をよく使います—**DOUBLE BIND**.

これは精神の分裂の土台でもあり、論理の理の破壊のはじまりであり、脳が思考停止の回路に落ちやすくなる。

これらの表現を下地に現れたのが**TWIST SPEAK, TURN SPEAK ETC....**＝意味のねじ曲げ、逆さの活用、本来有るべき意味合いから得られる意味の反対等—アイクの本、『特に時間の輪』に良く説明されています。

そして **SWINDLE** とは詐欺、ペテン、等であり、この場合はその目的の為のみに言語を悪用するテクニックですが、**WITTGENSTEIN** 論が土台の一つでもあります。これも太田先生がコメントしています。特にビクター ソーンの「新世界秩序を暴露する」の中の一章はこの問題一つに専念しています。

(因に 例えば “SCHINDLER’ S LIST” は SCHWINDLER’ S LIST とも呼ばれており、原書の本はドキュメンタリー、歴史ではなく、フィクションとして正式登録されています。)

**PRIVILEGED VETO** ニュウレンベルグ裁判の不条理であり不公平な判決を基に国連が作りあげた、米国特有の完全却下権利。

**YIDDISH** 本来のヘブライ語とまったく関係の無い、むしろドイツ語、ポーランド語に共通性多い言語 文法はトルコ語に近いようだ。 Ashkenazi, 東ヨーロッパ系ユダヤ人の言葉であり、ヘブライ語のアルファベットで表記。

**CENOTAPH** 英国のロンドンにある 戦争慰霊碑

**BISHOP RICHARD WILLIAMSON** 今現在 スキャンダル最中の カソリック界の司教です。今年初夏アルゼンチンから追放されました。これについては後に説明しますので。根本原因は例の第二次大戦中のガス室についての意見のためです。 もうすぐ(秋の初め頃)キリスト教の法廷に立たされます。

**IN FLAGRANTE (DELICTO)** 法律用語—現行犯 (犯罪現行中)

**LADY RENOUF**, は最近 [www.thejewishrepublic.com](http://www.thejewishrepublic.com) というサイトも開きました。 ぜひ そちらも検証してみてください。

kindly translated by Grace Oyama